

参考資料

(本リリースは、米国時間2021年11月17日に発表済みのアフラック・インコーポレーテッドによる英文プレスリリースの参考和訳です。解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします。)

アフラック・インコーポレーテッドが、責任投資原則 (PRI) に署名

ジョージア州コロンバス - 2021年11月17日

アフラック・インコーポレーテッド (NYSE : AFL) は、本日、責任投資原則 (PRI) の署名企業となったことを発表しました。PRI は、環境・社会・ガバナンス (ESG) の課題を投資や保有の意思決定に組み込むために取り得る行動計画となる 6 つの原則の遵守にコミットする資産保有者、資産運用会社およびサービス・プロバイダーの世界的なネットワークです。

アフラック・グローバル・インベストメンツは、アフラック・インコーポレーテッドの保険子会社から委託された保険契約者の資金を運用・保護する責任を負う事業体として、2020年末に、第三者の資産運用会社による運用資産を含む約1,290億ドルの一般勘定資産に適用される ESG投資方針を公表しました。アフラック・インコーポレーテッドは、2020年末時点で、債券、その他の負債商品、プライベート・エクイティへのプライベートおよびパブリック投資によって構成された、17億ドル以上のインパクト投資およびサステイナブル投資を実施しています。そして、2021年3月に、アフラック・インコーポレーテッドは、同社初のサステナビリティ・ボンドの発行の完了を公表しました。これにより、パーパス (存在意義) と経済的利益を両立させ、環境や地域社会を最大限に尊重しつつ事業を運営し、「人が第一」のビジネス・アプローチに基づくコア・バリューを守っていくという、当社の長年のコミットメントがさらに強化されることとなりました。PRIの署名により、アフラック・インコーポレーテッドとアフラック・グローバル・インベストメンツは、責任投資の枠組みを前進させる次の一步を踏み出しました。

アフラック・インコーポレーテッドの社長兼最高執行責任者であるフレデリック J. クロフォードは次のように述べています。「ESG の原則をアフラック・インコーポレーテッドの事業に組み込むことは、広く「ESG」と呼ばれる前から、30 年以上にわたって当社の事業の重要な一部となっています。当然ながら、アフラック・グローバル・インベストメンツが当社の全ての投資判断を評価するうえで実践している基本的な投資哲学にも、当社のコミットメントは及んでいます。当社は、投資を含めて当社が是とすることに忠実であることは商品やサービスと同様に重要であり、PRI の署名企業になることは、保険契約者、投資家、お客様へのコミットメントを強調するものです。これまでの当社の活動は、社会や環境に直接的かつ測定可能なプラスの影響を与えると当社が確信している取組みへの道筋をつけました」。

アフラック・インコーポレーテッドのエグゼクティブバイスプレジデント兼グローバル最高投資責任者であり、アフラック・グローバル・アセットマネジメント・エルエルシーの社長であるエリック M. カーシュは、「投資を含むアフラックの事業を考えると、社会や地球のために、パーパス (存在意義) を持ち、測定可能な良き行いをしていきたい。PRI の署名企業になることで、アフラック・グローバル・インベストメンツの基本的な投資哲学に ESG の要素を統合する当社の取組みが強化されます。これにより、投資の持続可能性とそのリスク・リター

ン・プロフィールに関するより良い意思決定につながるとともに、アフラックのすべてのステークホルダーに対して、経済的および社会的にポジティブな影響を与えることができると考えています。」と述べています。

PRI の最高経営責任者であるフィオナ レイノルズ氏は次のように述べています。「アフラック・インコーポレーテッドを PRI の署名企業として迎えることができ、大変嬉しく思っています。保険セクターは、持続可能な投資において一層注目されています。アフラック・インコーポレーテッドの参加により、保険セクターの他の企業が投資や保有の意思決定に ESG 要素を組み込む重要性を認識し、PRI への参加が促されることを期待しています。私たちは、このチームと一緒に取り組んでいくことを楽しみにしています。」

アフラック・インコーポレーテッドについて

アフラック・インコーポレーテッド（ニューヨーク証券取引所のティッカー・シンボル AFL）は、フォーチュン 500 社の 1 社であり、日米の子会社を通じて、5,000 万人以上の方々に保障を提供し、ご契約者の皆さまが病気や怪我をした時に、給付金を現金で迅速にお支払いすることで、両国において補完保険のリーディング・カンパニーとなっています。60 年以上にわたって、アフラック・インコーポレーテッドの子会社の保険商品は、ご契約者の皆さまが経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。アフラック生命保険株式会社は、日本における医療保険・がん保険の最大手で、約 4 世帯に 1 世帯がその保険に加入しています。アフラック・インコーポレーテッドは、『Ethisphere』誌から 15 年連続で「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出されています。2021 年、『フォーチュン』誌は、20 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にアフラック・インコーポレーテッドを選出し、ブルームバーグは、アフラック・インコーポレーテッドを 2 年連続で男女平等指数の対象企業に加えました。この指数は、方針の策定、表明、及び透明性を通じて男女平等への支援にコミットしている公開企業の財務業績の推移を追跡するものです。通常健康保険が保障しない出費にどのようにお役立ていただくかについての情報は、当社のウェブサイト aflac.com をご参照下さい。また、投資家の皆様には、アフラック・インコーポレーテッドならびにその ESG 及び社会的責任に対するコミットメントについて、investors.aflac.com 及び esg.aflac.com を通じて、より詳細にご理解いただくことができます。

アフラック・グローバル・インベストメンツについて

アフラック・グローバル・インベストメンツとは、アフラック・インコーポレーテッドの資産運用子会社であるアフラック・アセット・マネジメント・エルエルシー、アフラック・アセット・マネジメント株式会社、およびアフラック・ジーアイ・ホールディングス・エルエルシーのことを指します。アフラック・グローバル・インベストメンツは、日本と米国におけるアフラック・インコーポレーテッドの保険子会社の資産運用を担っています。2020 年 12 月時点で、アフラック・グローバル・インベストメンツが運用する一般勘定の資産額は、1,290 億ドル近くに達しており、またニューヨークおよび東京の拠点には 133 名の投資およびそのサポートを行うプロフェッショナルが在籍していました。

PRI について

PRI は、環境・社会・ガバナンス（ESG）要素による投資への影響を理解し、署名した投資家の国際的なネットワークが投資や保有の意思決定に ESG 要素を組み入れることをサポートしています。PRI は、署名者、署名者が活動する金融市場や経済、そして最終的には環境や社会全体の長期的な利益のために活動しています。2006 年にニューヨークで発足した PRI には、4,300 を超える企業が署名するまで成長し、121 兆ドルを超える運用資産を管理しています。

予測情報について

1995 年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が随時言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 新型コロナウイルスに起因するものも含む、世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 当社の運用資産に対して計上される予想信用損失の決定における重要な評価判断
- ・ 当社の財務力又は発行体格付けの引き下げ

- ・ 他の金融機関の信用力の低下
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 新型コロナウイルスの影響及びその変異種（既知のものと新たに発生するもの）及びこれに起因する、当社の事業及び財務業績への経済的な影響ならびに政府による介入
- ・ 優秀な募集人、ブローカー、社員及び販売提携先を引きつけ、維持する能力
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 子会社が親会社に配当金を支払う能力
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 日本郵政チャンネルにおけるアフラック（日本）の商品の販売水準
- ・ 当社に適用される税率変更の可能性
- ・ 契約者のプライバシー及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 競合環境及び市場のトレンドを予測し対応する能力
- ・ 気候変動によりもたらされる事象、伝染病、パンデミック（新型コロナウイルスによるものを含む）、竜巻、ハリケーン、地震、津波、戦争あるいはその他の軍事行動、テロ行為あるいはその他の暴力行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ アフラックブランドと当社の評判を守る能力
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 会計基準の変更
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 米国における労働者の誤分類に関する主張あるいは判決